

みんなの声



古越 二幸さん
(馬瀬〇区)

議会の皆様にはまずはお礼を。自宅近くの町の文化財・めがね塚古墳が草木で荒れ放題だったのを地元議員に相談したところ、多くの労力を投入して整備してくださいました。縄文ミュージアムで最近まで展示されていた三本の剣が出土した佐久地方最大の古墳なので、町民の皆さんこれを機にごついでご覧あれ。



整備されためがね塚古墳

膨らみます。もはや登頂も100回を過ぎ、浅間山を余生の友とする私から、塩野道を消滅させないためにも、山開きにはその整備と合わせて「知る会」など催したらどうだろうか」と提案します。

1000m林道は、大学の駅伝部の夏合宿にも利用されるほどの平坦な片道15km、さらに標高1500m付近までの国有林には高所練習に最適な数十キロに及ぶ浅間林道が網目状

成、森林で涼しい。また最近、真楽寺住職と共に踏査した大浅間ゴルフ場から直上する旧浅間山登山道塩野道は、かつて修験道として開かれ、徒歩の時代には佐久地方からの最短ルートとして栄えた古道です。一の地蔵や屏風岩の展望台も健在で、アツモリソウの群生地にも近いという後世に伝えたい遺構だが、実は前述の林道群を縦に縫っていて連係させれば一石二鳥かと夢も膨らみます。

今や巨大なランニング市場、浅間サンラインと1000m林道の間、2万8千坪の傾斜地に広がる「町民の森」にクロスカントリーコースを引き、トイレや更衣室を整備すれば、これらの林道群と相まってランニング拠点として有望な体験型観光資源と成り得ます。

雑感

議員になり、議会だよりの編集にたずさわりました。

編集の仕事は、まず良く読む事で、毎号少なくとも3回は目を通していきます。その事により、本会議の内容を再確認できるので、本当に良かったと感謝しています。

さて、私は昭和8年生まれで、小学生の時に戦争を体験しているの、その一部分を紹介します。

昭和19年の5月、私が通学していた学校は、埼玉県の川口市立鳩ヶ谷国民学校でした。この日は全学年が一斉に徒歩による遠足でした。(当時は徒歩以外の遠足はありませんでした)目的の地は、越ヶ谷町(現在は越谷市)の久伊豆神社で、片道およそ10kmの所です。

私はその時履くズック靴が無いため、下駄を前日に買ってもらい、履きなれない新しい下駄で参加したのです。その当時は物が自由には買えない配給制でした。4年生の時に配給された靴は、足にあわなくなりましたが、5年生になってからは配給されな

かったのです。

出発して1時間ぐらいで鼻緒ずれで痛くて、裸足になって歩きました。普段外で遊ぶ時は、だれもが裸足だったので、道路も裸足で歩けたのです。

この様な遠足はこれが最後となりました。その年の11月から、アメリカのB29という爆撃機による空襲が始まったからです。

翌20年8月15日正午に戦争終結が告げられ、命の危機がなくなり、ほっとした事を覚えています。

あれから71年過ぎました。平和がいままで続く事を願います。 奥田 敏治

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 野元 三天 |
| 副委員長 | 井田 理恵 |
| 委員 | 奥田 敏治 |
| | 徳吉 正博 |
| | 五味 高明 |
| | 池田 るみ |
| 議長 | 古越 弘 |
| 副議長 | 池田健一郎 |